

生物・ビオトープ分科会

2004年5月15日

1 テーマ

「里山まるごとビオトープ」～人との関わりから生まれる生物多様性～

2 目的・企画内容・スケジュール

<事例発表とパネルディスカッション>

目的:人が適度に手を加えること(稲作や山の手入れなど)によって、生物多様性が維持されている「里山の自然」を学術的に評価する。

内容:第一部の事例発表では専門的・学術的な調査・研究の報告,評価などをそれぞれ分野ごとに発表し、人の手が加わることで生物多様性が維持されていることを明らかにする。

第二部のパネルディスカッションでは、午前中の発表者と県の職員をパネリストに、政策をふまえた里山保全と生物多様性の維持に関してディスカッションする。このディスカッションは、パネリストと参加者との対話型で実施する(結論を出すことを目的としない)。

3 分科会会場

かずさアカデミアホール 202 A室(定員200名)

4 プログラム

10:00～10:10 主催者挨拶:里山シンポジウム実行委員会代表 金親博榮

10:10～10:40 基調講演:千葉県副知事 大槻幸一郎

分科会活動

10:50～12:00 生物・ビオトープ分科会第一部
分科会趣旨説明など 田中 正彦(分科会代表)

事例発表(各13分)

- | | |
|--|----------------|
| 1. 10:50～11:03 「里山での植物観察を通じて」 | 細川 隆(茂原高校) |
| 2. 11:03～11:16 「昆虫から見た里山の変化」 | 槐 真史(厚木市郷土資料館) |
| 3. 11:16～11:29 「淡水魚類からみた谷津田の生物多様性」 | 田中 正彦(犢橋高校) |
| 4. 11:29～11:42 「アカガエル類の卵塊モニタリング調査と谷津田保全」 | 長谷川 雅美(東邦大学) |
| 5. 11:42～11:55 「鳥の目で見た里山の生物多様性」 | 越川 重治(都市鳥研究会) |

12:00～13:00 昼 食

13:00～14:40 生物・ビオトープ分科会第二部

パネルディスカッション

コーディネーター:長谷川 雅美

パネラー:第一部の発表者 + 竹重貴志(県自然保護課)
熊谷宏尚(県環境政策課)

15:00～15:45 各分科会報告(各3分)

生物・ビオトープ分科会発表者:田中 正彦

16:00～16:30 パネル討論「里山に託す私たちの未来,その現状と展望」

パネラー:堂本 暁子(千葉県知事)

大槻 幸一郎(副知事)

金親 博榮(実行委員会代表・千葉市森林組合)

小西 由希子(実行委員会副代表・ちば環境情報センター)

栗原 祐二(実行委員会副代表・千葉まちづくりサポートセンター)

コーディネーター:中村 俊彦(千葉県立中央博物館生態・環境研究部長)

16:30 閉 会

